

◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代女性)あります。症状は発熱, 咳嗽, 呼吸困難, 肺炎です。本年の累積報告数は22例となり, 過去5年間で最も多かった昨年の年間16例を既に上回っています。
- ・ 手足口病の定点当たり報告が1.61(66例)となり, 警報終息基準値2を下回りました。11週続いた今夏の手足口病の流行は終息しました。

◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)あり, 累積報告数は16例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 22例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

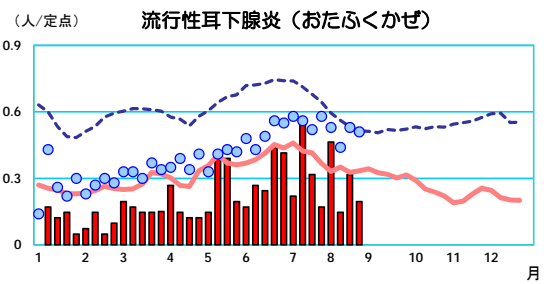
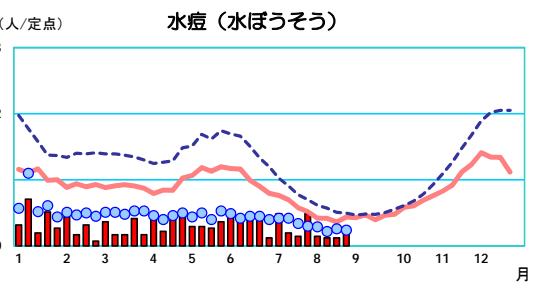
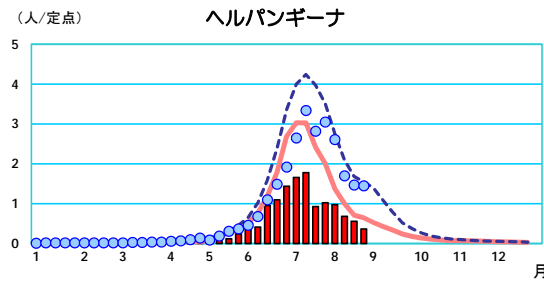
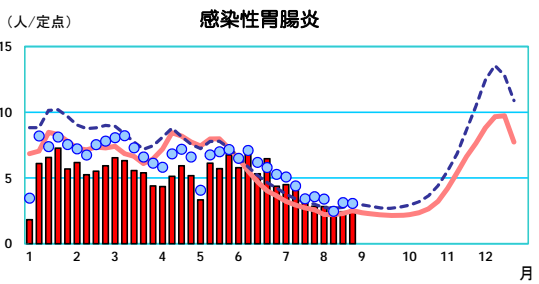
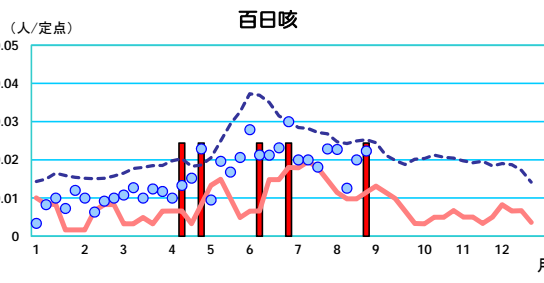
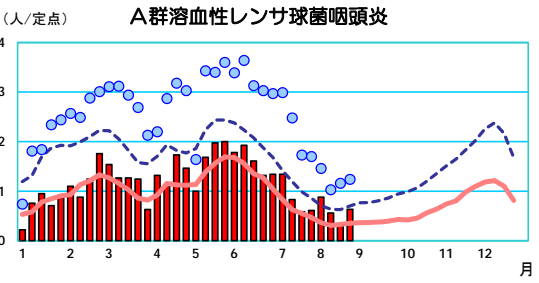
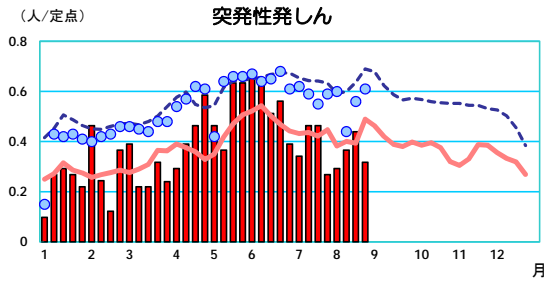
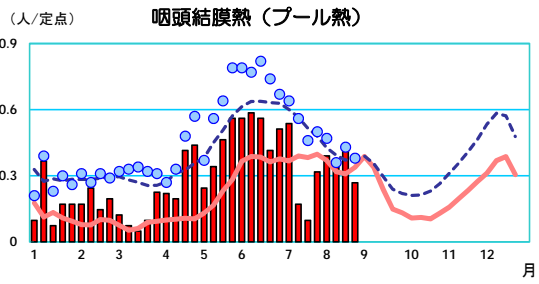
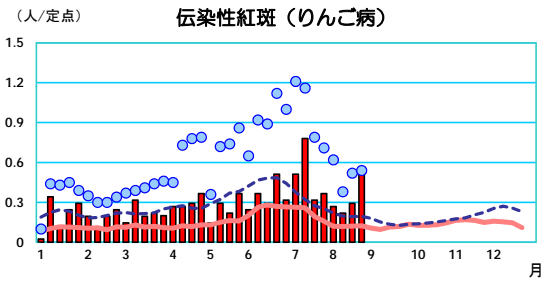
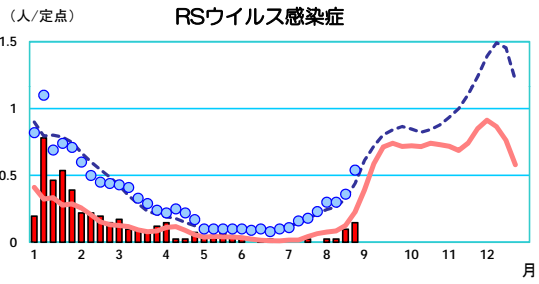
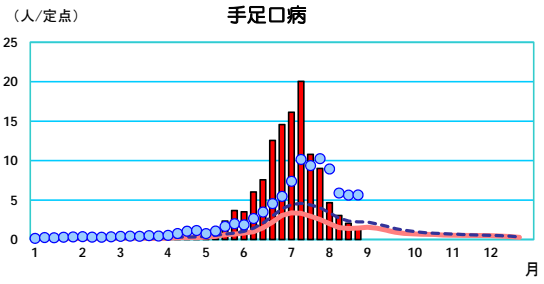
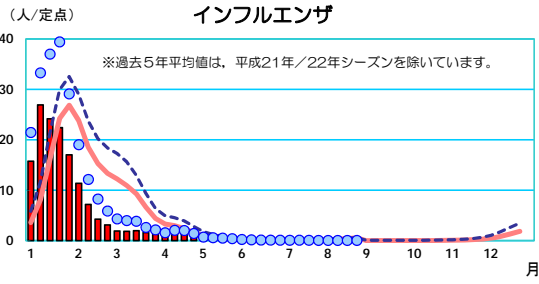
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.04	3
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.56	105
	② 手足口病	1.61	66
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	26
	④ 伝染性紅斑	0.54	22
	④ ヘルパンギーナ	0.37	15
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年9月3日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第35週(8月24日～8月30日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症の報告が1例(20歳代女性)あり、累積報告数は16例となりました。平成22年以降の同週までの累積報告数と比較すると、平成24年に次いで2番目に少ない報告数となっています(図1:平成22年 28例,平成23年 31例,平成24年 15例,平成25年 31例,平成26年 20例)。それにもかかわらず、合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)がすでに2例報告されています(表1)。

牛肉の生食による食中毒の発生を受けて、厚生労働省は生食用食肉の規格基準を改正し、さらに、生食用牛レバーの販売を禁止しました。これらの規制により、平成23年以降、生肉・生レバーの喫食が原因と推定されるO157感染事例は減少しましたが、全体のEHEC感染者数は減少していません。

例年、年齢を問わず届出があり、届出の約3割は無症状病原体保有者の報告ですが、有症患者の割合は、小児と高齢者で高く、20代～50代では低い傾向があります(図2)。特に、低年齢の小児はEHEC感染とその後のHUS発症のリスクが高く、徹底した感染予防が重要となります。

EHECは赤痢菌同様、少量の菌数(100個程度)でも感染が成立するため、人から人への経路で感染が拡大しやすく、無症状病原体保有者からの家族内二次感染により幼児が重症化したり、保育所等での集団発生に発展する事例があり、注意が必要です。

毎年保育施設における集団発生が多くみられていることから、排便後・食事前の手洗いの励行、汚物の適切な処理及びトイレ・洗面所等の消毒など、人から人への二次感染を予防することがとても重要です。

図1 年別・週別累積報告数の推移(京都市)

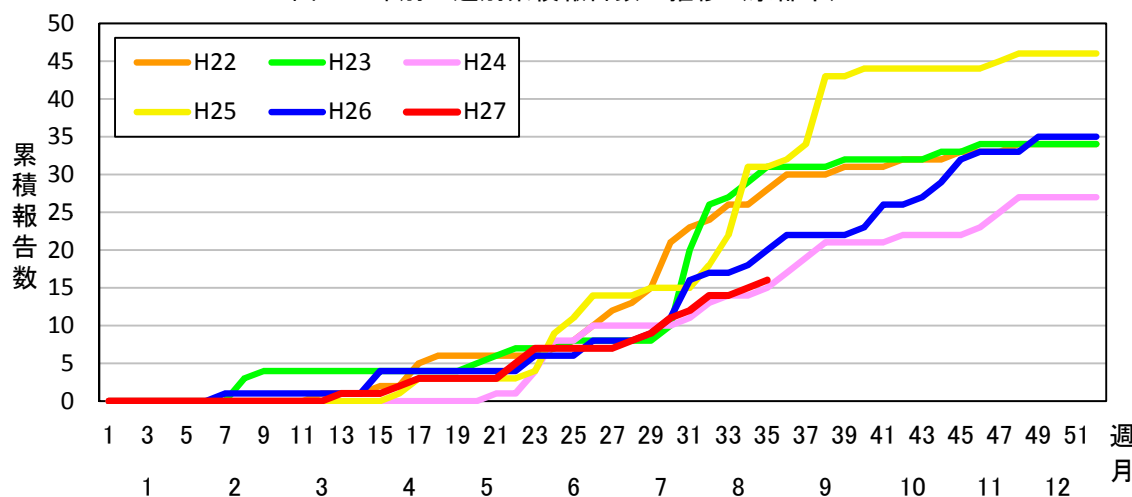
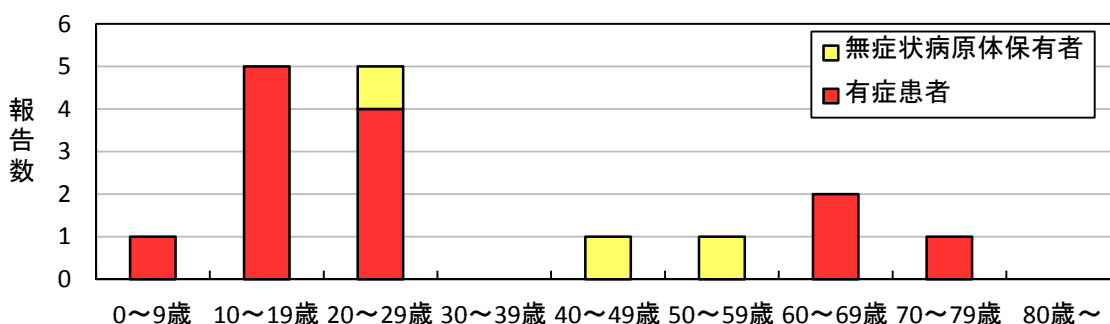


表1 本市における年別・型別報告数

診断年	合計	O26	O69	O86	O91	O103	O111	O121	O145	O157	O165	不明
平成22年	34	1				1	2			30		
平成23年	34			1			1		1	30		1(HUSのため)
平成24年	27								1	23	1	2(HUSのため)
平成25年	46	6							7	33		
平成26年	35	6			1		3			24		1(HUSのため)
平成27年第35週まで	16		1							12	1	2(HUSのため)

図2 年齢階級別報告数(京都市)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第35週

疾病,行政区別報告数

平成27年8月24日～平成27年8月30日

データ入手日:平成27年9月3日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	1	-	2	1	-	-	1	-	-	2	-	-	1						
上京	-	2	-	1	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	2	3	1	11	-	14	2	1	-	-	-	-	2						
中京	-	1	-	-	6	-	2	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	17	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	2	5	2	-	2	-	2	-	-	-	-	1						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1	-	3	3	11	-	10	1	1	-	4	-	-	-						
右京	1	-	2	3	19	-	13	9	6	-	1	1	-	-						
伏見	-	-	-	7	24	2	13	6	1	-	7	6	-	-						
西京	1	-	1	3	11	8	10	1	2	-	-	-	-	-						
京都市計	3	6	11	26	105	11	66	22	13	1	15	8	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	0.25	-	0.50	0.25	-	-	0.25	-	-	0.50	-	-	1.00						
上京	-	0.67	-	0.33	1.00	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	0.50	0.75	0.25	2.75	-	3.50	0.50	0.25	-	-	-	-	2.00						
中京	-	0.33	-	-	2.00	-	0.67	0.33	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	8.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	0.50	1.25	0.50	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	1.00						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.20	-	1.00	1.00	3.67	-	3.33	0.33	0.33	-	1.33	-	-	-						
右京	0.13	-	0.40	0.60	3.80	-	2.60	1.80	1.20	-	0.20	0.20	-	-						
伏見	-	-	-	1.00	3.43	0.29	1.86	0.86	0.14	-	1.00	0.86	-	-						
西京	0.14	-	0.25	0.75	2.75	2.00	2.50	0.25	0.50	-	-	-	-	-						
京都市計	0.04	0.15	0.27	0.63	2.56	0.27	1.61	0.54	0.32	0.02	0.37	0.20	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第35週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年8月24日～平成27年8月30日

データ入手日:平成27年9月3日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症		6	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		11	-	2	3	2	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		26	-	2	2	1	2	5	3	2	2	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		105	2	6	16	16	7	8	2	9	2	10	4	14	2	7	-	-	-	-	-	-	-
水痘		11	-	-	1	2	1	2	-	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	66	-	8	19	9	10	7	2	3	3	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		22	-	1	1	1	4	4	4	2	1	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	3	7	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		15	-	3	7	-	2	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		8	-	-	1	1	1	1	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症		0.15	-	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.27	-	0.05	0.07	0.05	-	-	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.63	-	0.05	0.05	0.02	0.05	0.12	0.07	0.05	0.05	-	0.05	0.07	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.56	0.05	0.15	0.39	0.39	0.17	0.20	0.05	0.22	0.05	0.24	0.10	0.34	0.05	0.17	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.27	-	-	0.02	0.05	0.02	0.05	-	-	0.02	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1.61	-	0.20	0.46	0.22	0.24	0.17	0.05	0.07	0.07	0.05	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.54	-	0.02	0.02	0.02	0.10	0.10	0.10	0.05	0.02	-	-	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.32	-	0.07	0.17	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.37	-	0.07	0.17	-	0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.20	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第35週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年9月3日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	-	2	-	-	-	3
RSウイルス感染症	1	-	1	1	4	6
咽頭結膜熱	4	13	16	14	18	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	25	36	23	14	26
感染性胃腸炎	140	117	116	114	100	105
水痘	6	20	6	5	5	11
手足口病	443	369	191	125	84	66
伝染性紅斑	13	15	11	9	12	22
突発性発しん	19	11	12	15	18	13
百日咳	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	38	42	40	28	23	15
流行性耳下腺炎	13	7	19	6	13	8
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	4	1	4	4	4
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	702	625	449	344	295	291

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	-	0.03	-	-	-	0.04
RSウイルス感染症	0.02	-	0.02	0.02	0.10	0.15
咽頭結膜熱	0.10	0.32	0.39	0.34	0.44	0.27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.61	0.88	0.56	0.34	0.63
感染性胃腸炎	3.41	2.85	2.83	2.78	2.44	2.56
水痘	0.15	0.49	0.15	0.12	0.12	0.27
手足口病	10.80	9.00	4.66	3.05	2.05	1.61
伝染性紅斑	0.32	0.37	0.27	0.22	0.29	0.54
突発性発しん	0.46	0.27	0.29	0.37	0.44	0.32
百日咳	-	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.93	1.02	0.98	0.68	0.56	0.37
流行性耳下腺炎	0.32	0.17	0.46	0.15	0.32	0.20
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.40	0.10	0.40	0.40	0.40
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	17.20	15.53	11.03	8.69	7.50	7.37

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。